



ウサギ糞

採集・目撃場所
大泉川上流



リス食痕

採集・目撃場所
大泉川上流



ネズミ科の食痕

採集・目撃場所
大芝森林

哺乳類フィールドサイン



シカ糞

採集・目撃場所
大泉川上流



モグラ科の巣

採集・目撃場所
大泉川上流



キツネの巣穴

採集・目撃場所
大芝森林



キツネの糞

半沢の上流地域で7月にキツネの糞を発見する。糞には羽毛を見ることができなかった。彼等は小中の哺乳動物を食していない、人里近く残飯など、人間と共生しているのであろう。



ヒミズ

上流地域、林縁でヒミズを捕獲する、モグラに似て頭部が細く尖っている
餌はモグラと同じ土壌中の小動物である。



アマガエル科
アマガエル
採集・目撃場所
村全域



アカガエル科
アカガエル
採集・目撃場所
大泉川上流



爬虫類
ナミヘビ科
アオダイショウ
採集・目撃場所
大芝森林

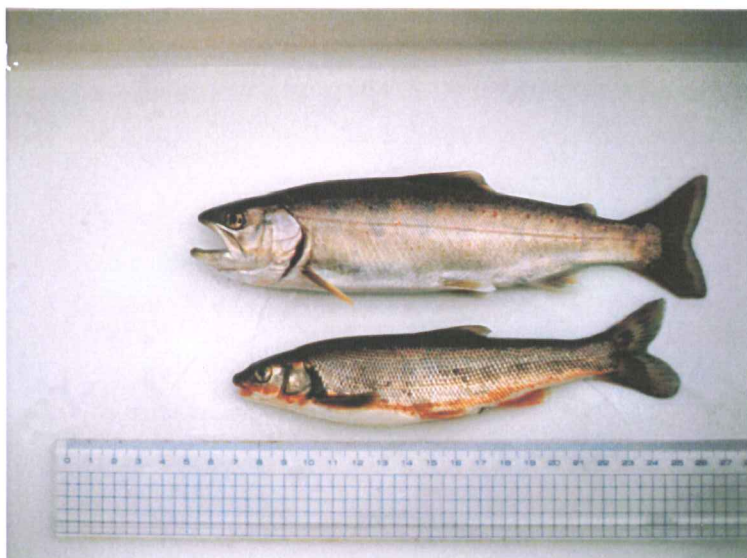


金色のアマガエル
 (アルビノのアマガエル)
 西天竜水田にて採集
 除草剤、農薬、肥料
 などの散布によっておこ
 った突然変異個体



シュレーゲルアオガエル

 大泉川上流で採集



アマゴ・ウグイ
 南沢川、北沢合流点で
 採集
 アマゴ・・・体長 27cm
 体幅 7cm 体側に側線
 ウグイ・・・体長 13cm
 体幅 5cm 頭部が大きい



コウゾリナの花の吸蜜をする
ツマジロウラジャノメ
(特定昆虫)



クヌギの葉に翅を休めるオオムラサキ 雄
(レッドデータブック 希少種)
(国蝶)



キバネツノトンボ
(特定昆虫)



コオイムシ 雄
雌は雄の背中に産卵し、雄は子育てする
(特定昆虫)



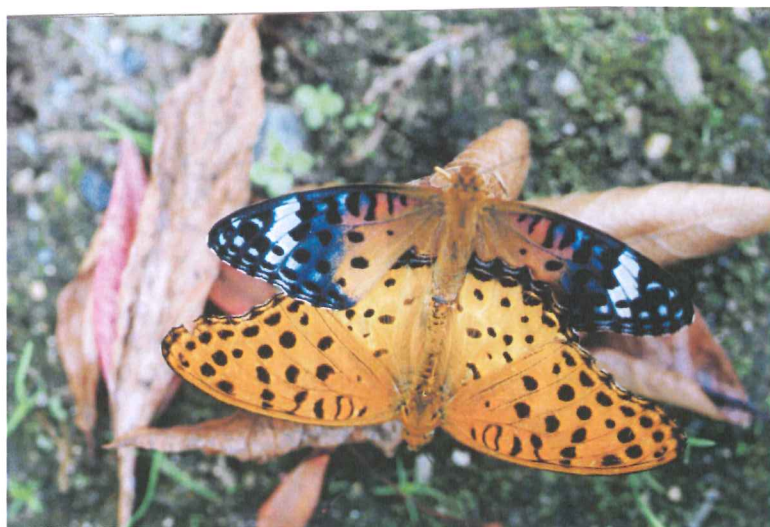
ヒメギフチョウ（アゲハチョウ科）

絶滅危惧種。南箕輪村では絶滅したと思っていたが、少数個体ではあるが飛翔を確認した。カタクリの花の吸蜜するヒメギフチョウ。



ヒメギフチョウの幼虫はウスバサイシンの葉をたべて成長する

写真はウスバサイシン（ウマノスズクサ科）の葉裏に生み付けられたヒメギフチョウの卵 10～15 個、真珠を思わせるようだ。



ツマグロヒョウモン（タテハチョウ科）の交尾 上、雌 下、雄

ツマグロヒョウモンは信州には住める蝶ではなかった、平成 10 年頃からその飛翔を飯田地方で目撃するようになったが、越冬はできなかった。

食草はスミレで、園芸用のパンジーにもつく、南箕輪村にも生息し越冬している。地球温暖化によるものであろう。



ルリタテハ (タテハチョウ科)
ホトトギスの葉上に翅を休める。
大泉川上流



サカハチチョウ (タテハチョウ科)
ウツギの花の吸蜜をする。
権兵衛入り口



テングチョウ (テングチョウ科)
路面の上に翅を休める。
大泉ダムの上



イチモンジチョウ (タテハチョウ科)
スイカズラの花の吸蜜をする。
南沢



アサギマダラ (マダラチョウ科)
ユウガギクの花の吸蜜をする。
大泉川上流



ツマキチョウ (シロチョウ科)
ヨメナ葉上に翅を休める。
北沢川中流